

小田川合流点付替え事業

令和元年9月18日

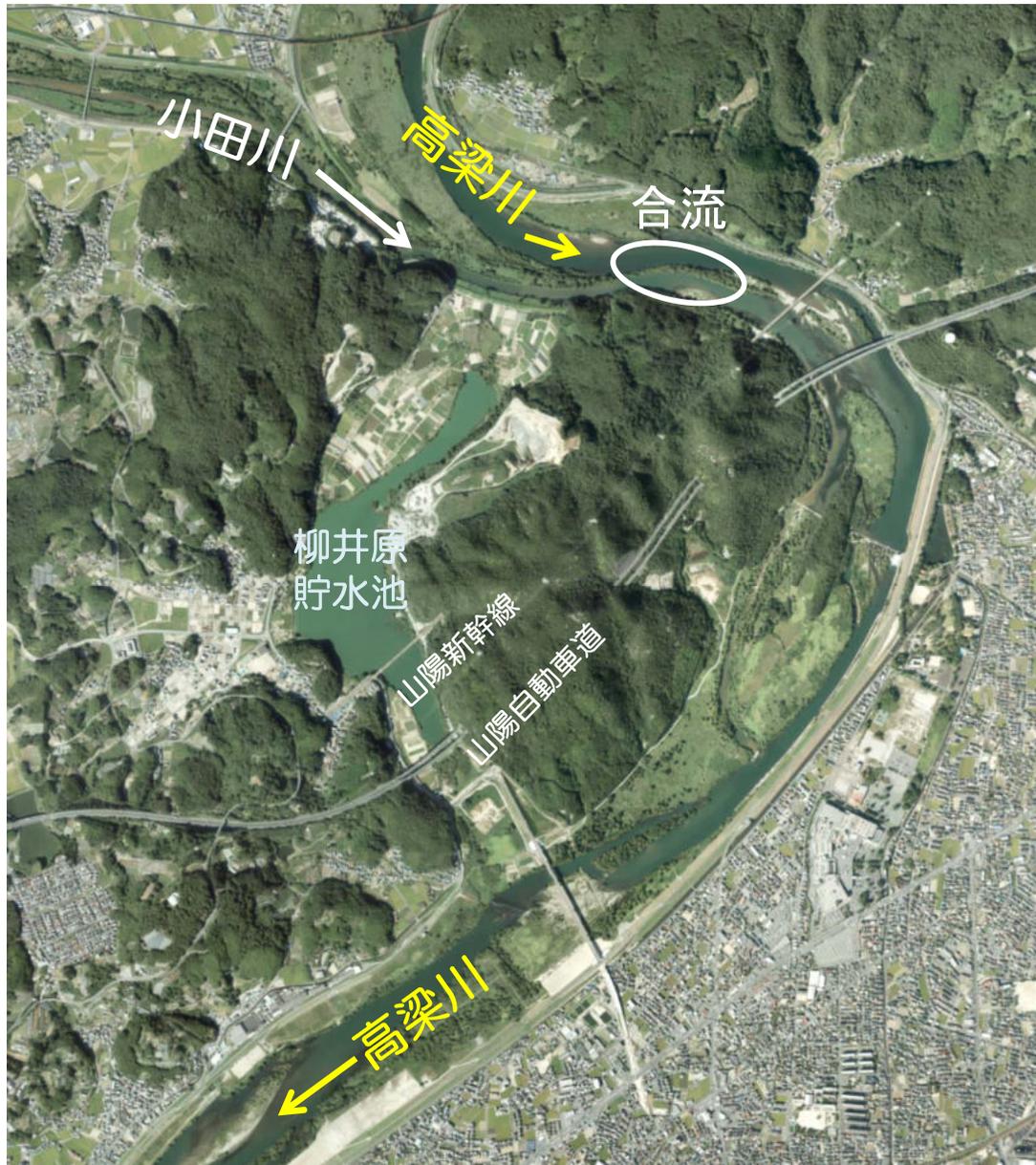
国土交通省中国地方整備局



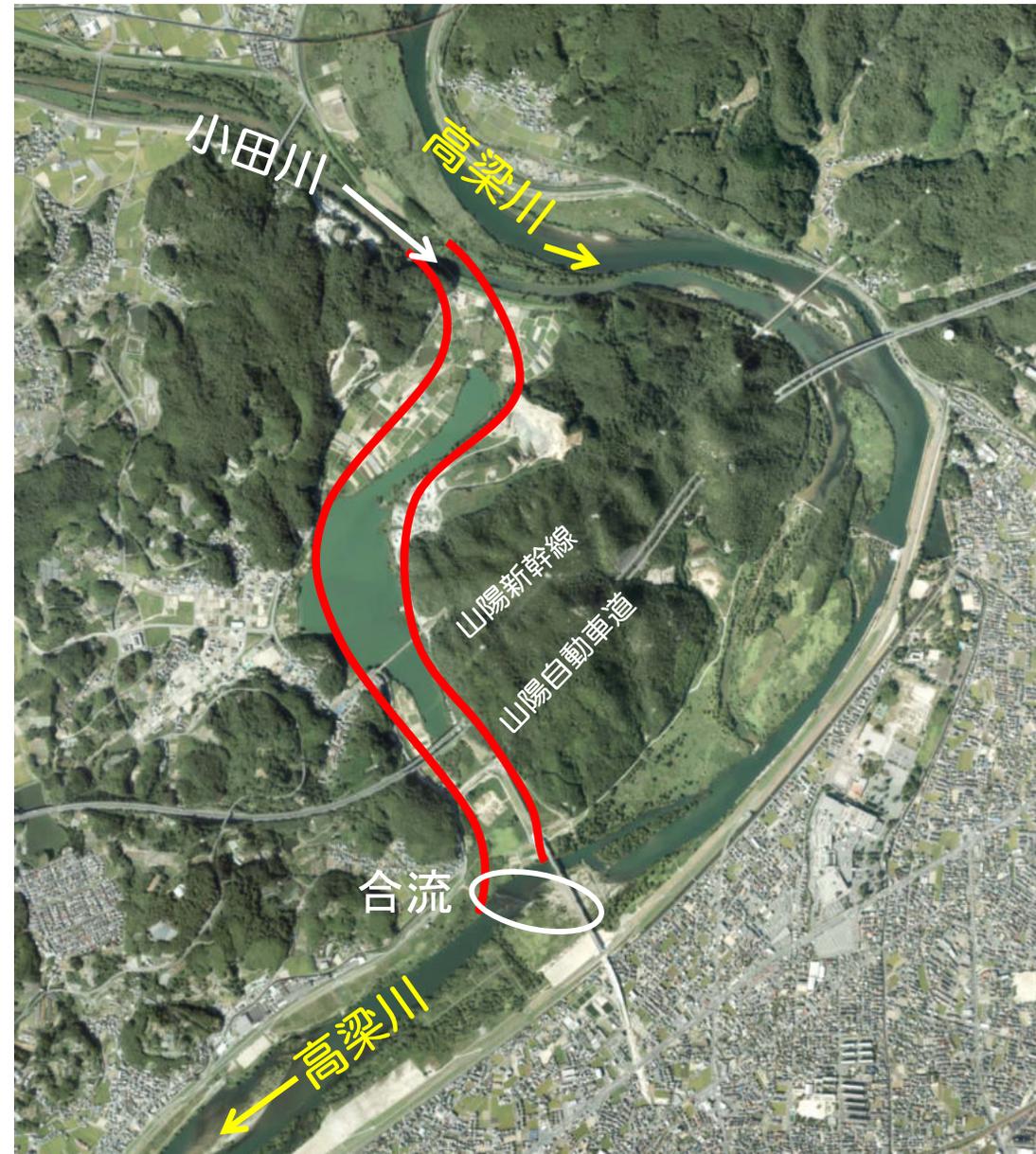
国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省
中国地方整備局

小田川合流点付替え事業の概要①

付替え前



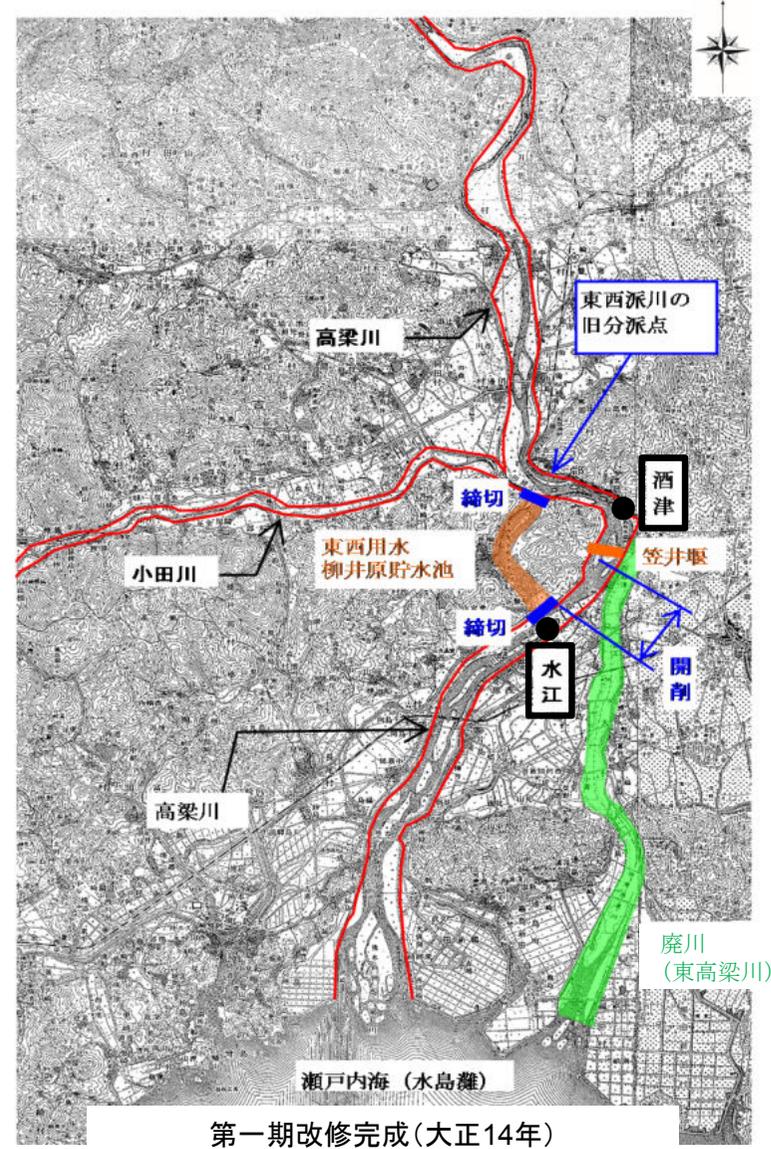
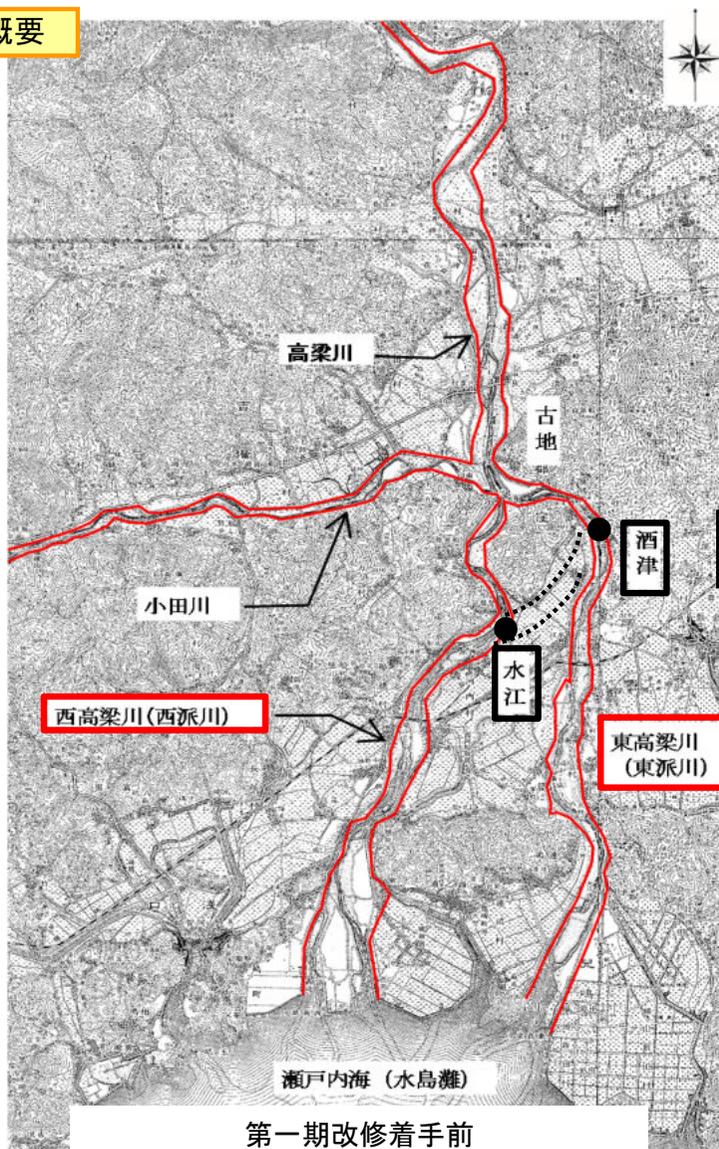
付替え後



小田川合流点付替え事業の概要②(高梁川改修の歴史)

- 高梁川では、明治26年10月洪水により高梁川と小田川が至るところで決壊し、甚大な被害を受けた。これを契機に明治40年から内務省直轄による高梁川第一期改修に着手した。
- 改修前の高梁川は、小田川合流点付近で西高梁川と東高梁川に分かれていたが、経済性の観点から、酒津から水江区間は新川^{さかつ}開削^{みずえ}により流水を西高梁川に導くとともに、締め切られた西高梁川の一部は柳井原貯水池として整備し、現在の高梁川が形づくられた。

高梁川第一期改修の概要

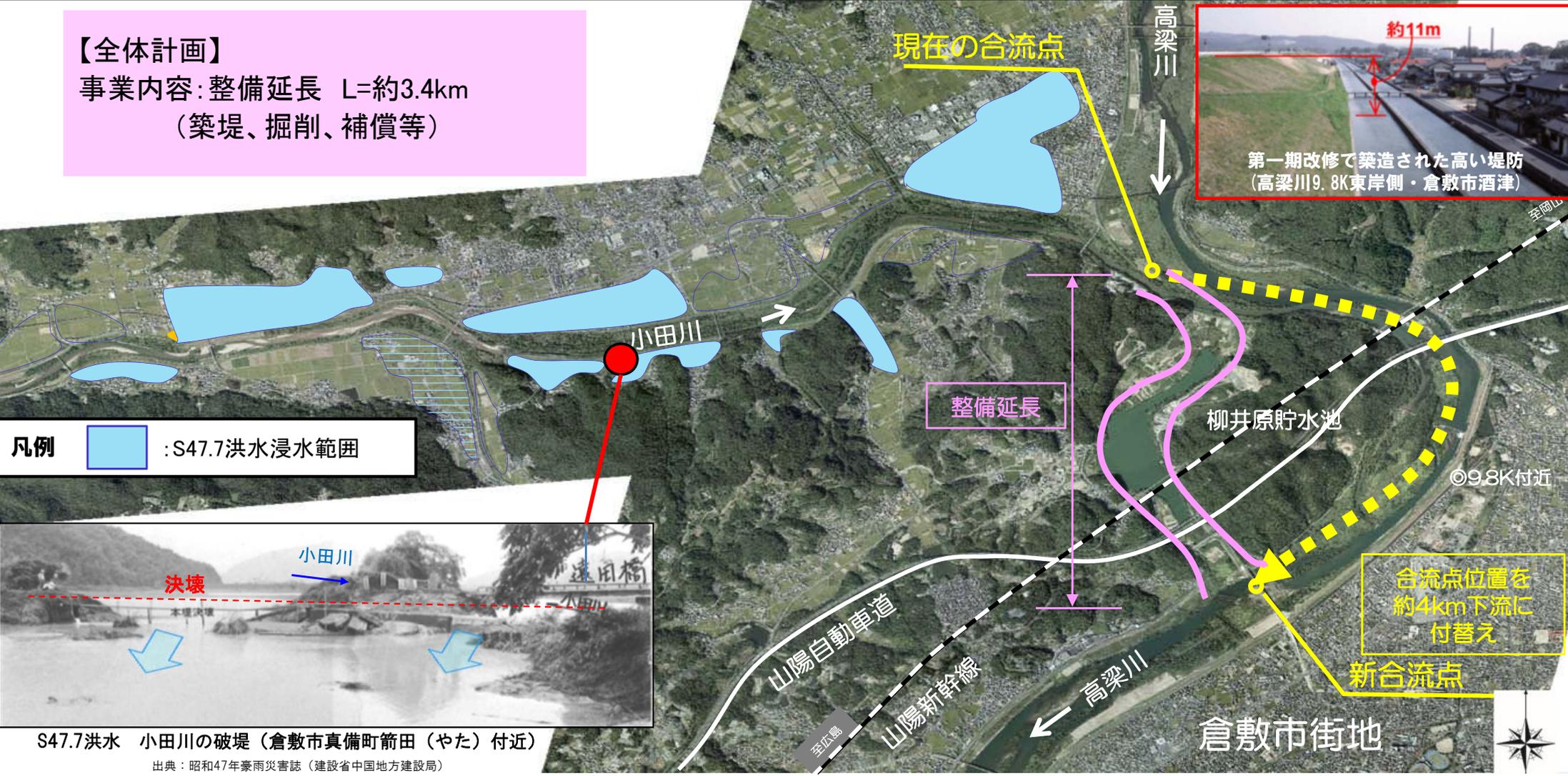


小田川合流点付替え事業の概要③

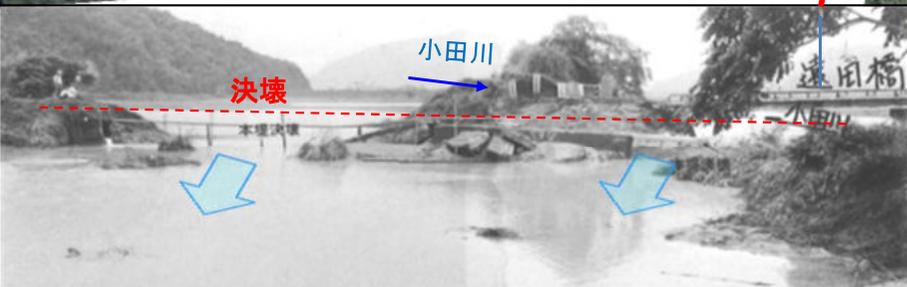
- 小田川は、高梁川の水位上昇の影響により洪水が流れにくく水位が高くなる特性があり、昭和47年7月洪水では堤防の決壊による浸水被害が発生している。
- 現在の柳井原貯水池を活用し、高梁川との合流点位置を約4km下流に付替えるとともに、小田川の築堤及び河道掘削を行うことにより、戦後最大である昭和47年7月洪水による小田川沿川地域の被害を解消することができる。
- 合流点付替えに伴う築堤及び掘削等の大規模土工工事では、ICT技術を活用した施工を行うなどi-Constructionの取組を推進する予定である。

【全体計画】

事業内容：整備延長 L=約3.4km
(築堤、掘削、補償等)



凡例 : S47.7洪水浸水範囲



S47.7洪水 小田川の破堤（倉敷市真備町箭田（やた）付近）

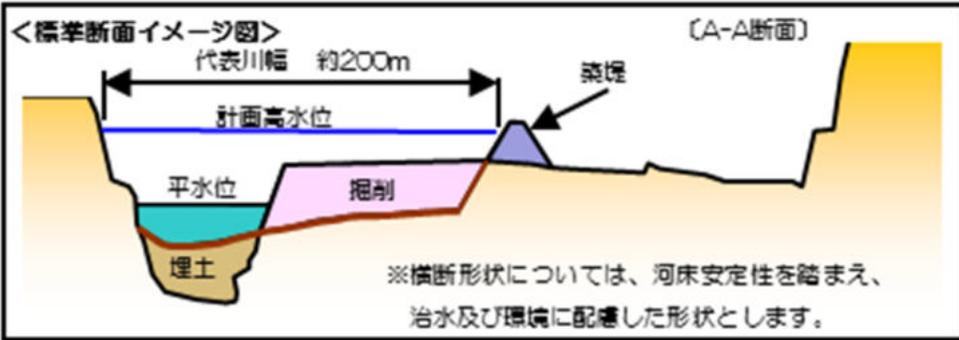
出典：昭和47年豪雨災害誌（建設省中国地方建設局）

倉敷市街地



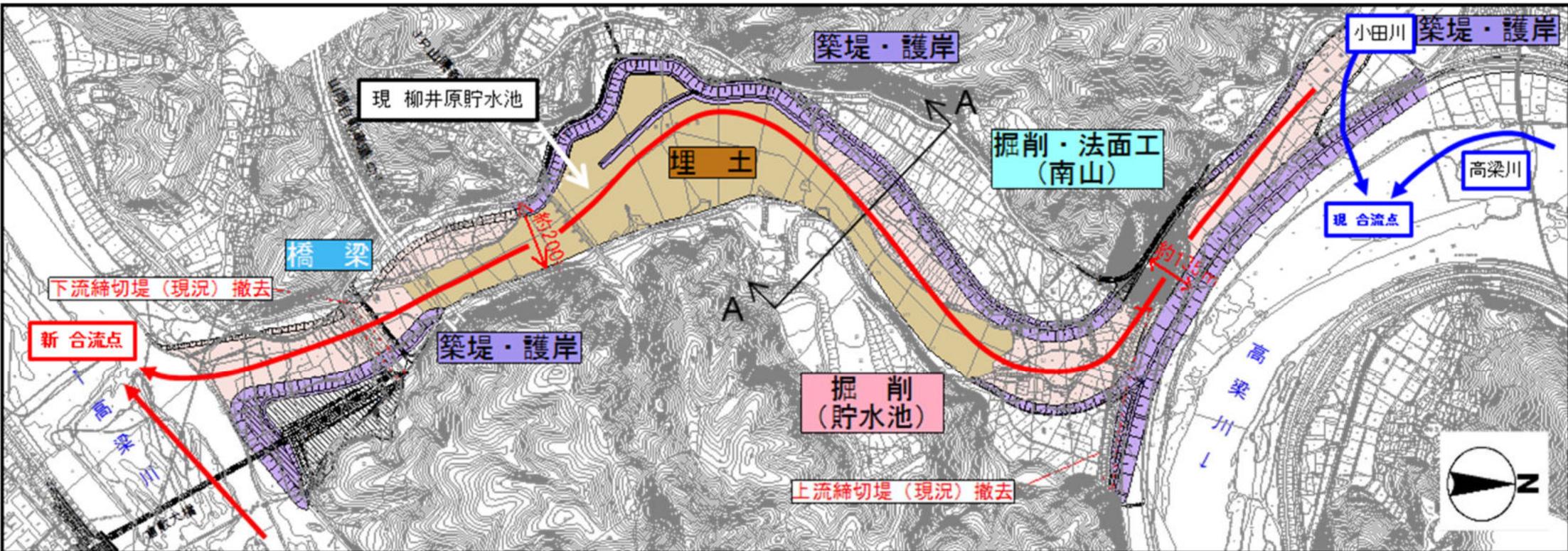
小田川合流点付替え事業の概要④

■現在の柳井原貯水池を活用し、高梁川との合流位置を約4.6km下流へ付替え、小田川の沿川地域及び倉敷市街地における治水安全度の向上を図ります。

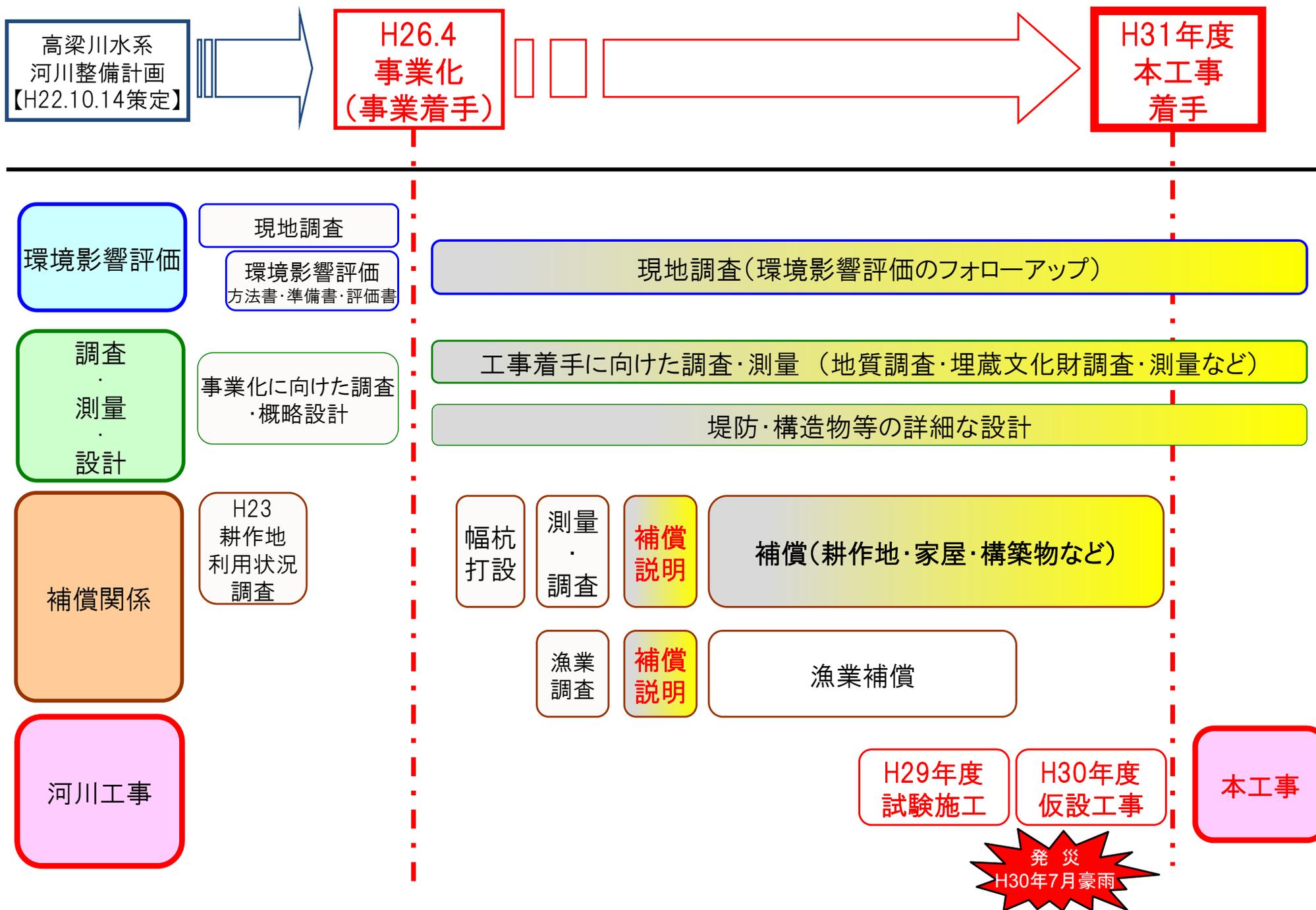


工事内容	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
仮設工事	■						
掘削・築堤		■	■	■	■	■	■
貯水池河道整正			■	■	■		
橋梁架設			■	■	■		
締切堤撤去					■ (下流側)	■ (上流側)	

合流点付替え



小田川合流点付替え事業 これまでの取り組み



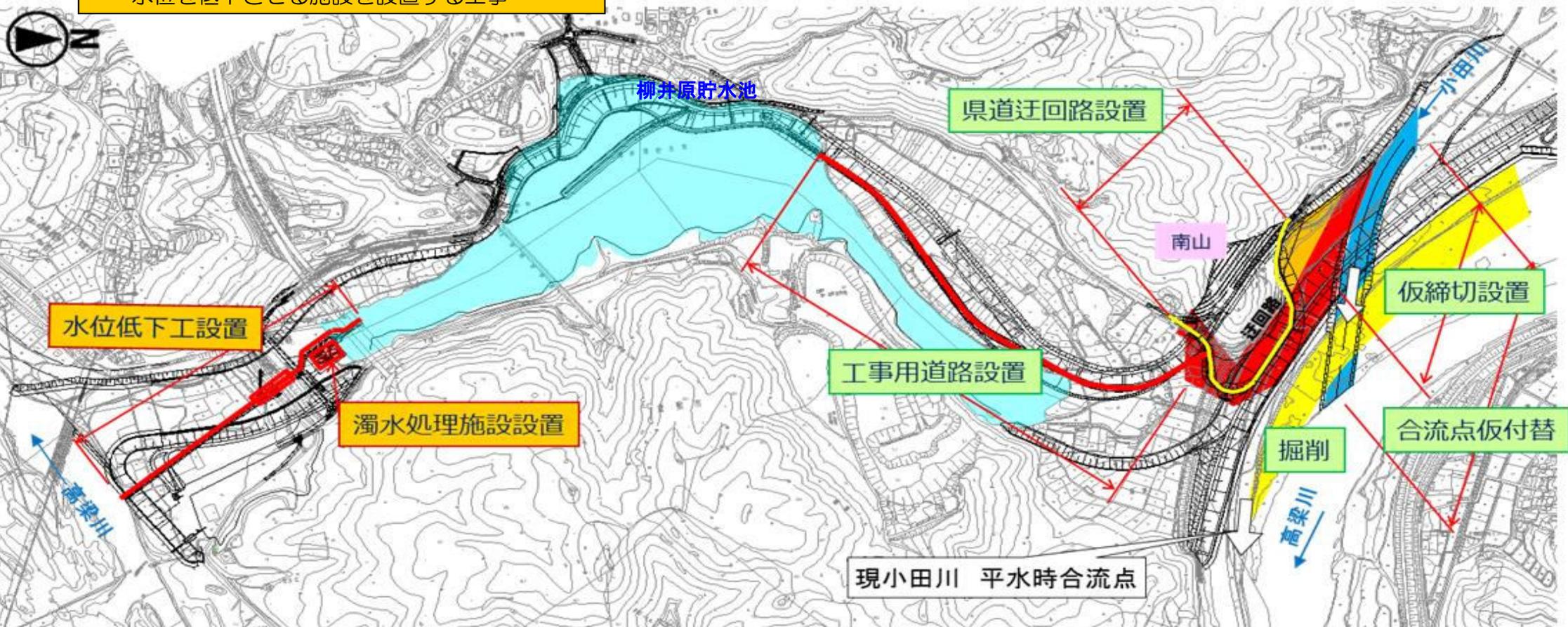
小田川合流点付替え事業の実施状況(現在実施中の工事)

★築堤盛土を行うために必要な工事

- 濁水処理施設設置：工事中に発生する濁水の処理設備を設置する工事
- 水位低下工：堤防等を設置するために貯水池水位を低下させる施設を設置する工事

★南山掘削を行うために必要な工事

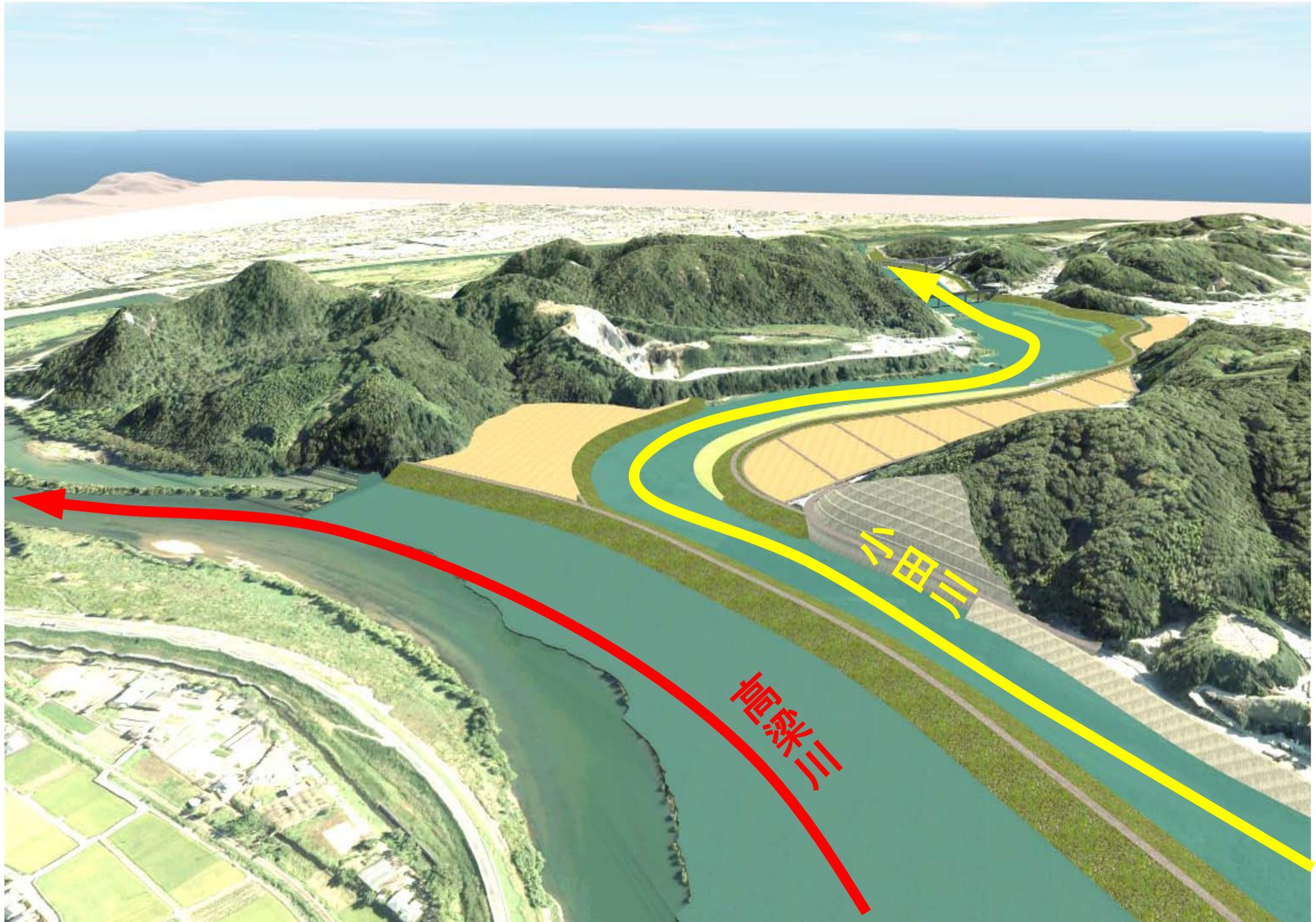
- 現県道（県道下原船穂線）の迂回路 及び 仮締切の設置
- 現小田川の合流点仮付替え
- 築堤等のための工事用道路の設置



小田川合流点付替え事業(県道迂回路)



小田川付替え工事 完成イメージ(上流側)



小田川合流点付替え事業(濁水処理施設)



柳井原
貯水池

【令和元年8月1日撮影】

小田川合流点付替え事業(水位低下工)



小田川付替え工事 完成イメージ(下流側)

